

倒壊した築年数の古い木造家屋



益城町は全壊・半壊・一部損壊が住宅全体の半数近い数に及んだ



外観上は新築の家と築 20 年以上の家との壊れ方の差が著しい

震度7と震度6強

震の被

建物と宅地に甚大な被害

熊本市で全壊と半壊が合わせ は2万5000棟に及んでおり、 2万672棟、 1026棟、半壊と一部破損がおよ 熊本県内で被害を受けた住 本県の災害対策本部による 益城町では全壊

そ4400棟の規模に及んでいる

町全体の家の半数が大被害

以上の余震が続いている熊本地方。 その後も1300回を越える震度 て倒壊・半壊という状況だった。 築住宅が残っているほかは、 近に到着すると、 スファルトの地割れも目だってく くにつれて、建物の倒壊が増え、 ルの柱が点々と見え、震源地に近づ 覆われた倒壊した店舗併用住宅、 デンウィーク後の5月6日、 出した熊本市益城町の状況を現地 本誌では、家屋で最も多くの被害を から益城町に至る一本道は車両の ん断破壊した鉄筋コンクリートのビ 本誌が現地に到着したのはゴー 震源地にほど近い益城城役場付 熊本市内ではブルーシートに 築年数の新しい新

日に最大震度6強の地震が発生

4月14日に最大震度7、2日後